

2022年度 自己評価表 YMCA米子医療福祉専門学校

1. 学校の教育目標

本校は開校 29 年目となるが、少子化や新設校、競合校などの外的要因および施設の老朽化などの内的要因により、入学者の定員割れ状態が続いている。2022 年度は、中期計画を基に既存学科における課題の分析を行い、学校運営を安定させるための方策を仔細に検討し、方針を明確に打ち出していきたい。

その上で、YMCAの基本理念である「愛と奉仕の精神」を尊重し、人間性豊かで、専門的知識・技術・態度を身に付け、地域に貢献できる人材の養成を行い、伝統校として米子市はもとより、山陰地方になくてはならないと認められる学校であることを目指したい。

1. 日本YMCA中期計画を推進する。

2. 既存学科における課題の分析を行い、今後どのような運営を図るのか検討する。

3. 学校経営の基盤となる学生数確保に向けた取り組みの強化に努める。

①募集戦略委員会を中心に広報の強化を図る。

1) 学生へのアンケートや聞き取り調査等による現状の把握(各科についての情報源とその魅力度、受験を決めたきっかけなど)とそれを基にした効果的な広報の手段の確立を図る。

2) 各科で養成する人材の具体的な仕事の内容とその意義を周知させる戦略を立てる。

②外国人留学生の受入れ準備を進める。

4. 教育の質向上を目指した取り組みの強化を行う。

①丁寧な教育と学生支援を強化して、休学率・退学率の低減を図る。

②国家試験の合格率の維持・向上を図る。

③アクティブラーニングをより積極的に取り入れる。

④3科協力して、多職種連携に関わる教育内容の充実を図る。

5. 経費削減の徹底を図り、収支を維持する。

6. 老朽化した備品や施設の更新を計画的に行う。

7. 鳥取大学医学部、島根大学との連携を強化し、講師陣の充実をアピールする。

8. 公開講座の開催や地域イベントへのボランティア参加などを通して、地域との連携を深める。

2. 評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2
2. 育成人材像は、専門分野に関連する業界等の人材ニーズを踏まえているか	④	3	2	1
3. 理念などの達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	③	2	1
4. 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	③	2	1

①課題

- ・3 3学科揃っており、チームアプローチ論、ボランティア活動、市民公開講座など行っているが、対外的にアピールできる教育活動が必要。
- ・4 社会ニーズは高いが、OT科およびCW科では定員充足できていない。PT科も安心はできない状況であり、特に、山陰地区での社会的ニーズを踏まえた将来構想の検討が必要。

②今後の改善方策

- ・3 対外的にアピールできる教育活動を検討する。
- ・4 山陰地区での社会的ニーズを踏まえ、育成すべき人材と入学学生の状況および校舎・設備の老朽化などをふまえた将来構想の策定を行う。

③特記事項

- ・2 3学科とも就職率100%であり、業界の人材ニーズを踏まえることはできている。
- ・3 3学科とも臨床実習教育を重視しており、実習を通して多くのことを学べるように個々の学生に対応した教育を行っている。

(2)学校運営

評価項目	適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
2. 目的等に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
3. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
5. 教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④	3	2	1
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
7. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

- ・8 オンラインに対応するために必要最低限の機器は揃えているが、まだ十分ではない。

②今後の改善方策

- ・8 年度予算を立て機器の充実を図る。

③特記事項

- ・9月中旬～10月中旬に1F～4Fのトイレの洋式化のための改修工事を行うとともに洗面台の水栓を自動水栓に取り替えた。

(3)教育活動

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 理念、教育課程編成方針、卒業認定・称号授与の方針、等に沿った教育課程編成方針等が策定されているか	④	3	2
2. 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
3. 学科等のカリキュラムは指定規則を踏まえ、体系的に編成されているか	④	3	2	1
4. 教育課程について、外部の意見を反映しているか	④	3	2	1
5. 実践的な職業教育(臨床実習、施設実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
6. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
7. 学校が主体となって実習指導者の教育の質を高め、一定の教育水準を担保する取組みが行われているか	④	3	2	1
8. 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
10. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
11. 学生の子々な課題に対応するためのサポート体制の整備や、定期的な学生面談、必要に応じて個別指導などを実施しているか	④	3	2	1
12. 卒業認定・称号授与の方針に示す能力や特性を身につけた者を教育する要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
13. 関連分野における業界との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するマネジメントが行われているか	④	3	2	1
14. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成や教職員の学生対応等、教職員の資質向上が行われているか	④	3	2	1
15. 教員が臨床能力を維持・発展させ、専門教育を行うための環境を整備できているか	④	3	2	1

③特記事項

・7. 理学療法士会・作業療法士会が実施する臨床実習指導者講習会に各科から講師を派遣し、実習指導者の教育の質を高めることに寄与した

(4)学修成果

評価項目	適切…4 ほぼ適切3 やや不適切…2 適切…1			
	1. 就職率に関する目標設定はあるか	④	3	2
2. 関連する企業等と共催で就職ガイダンスを行うなど、就職に関して関連企業等と連携しているか	④	3	2	1
3. 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
4. 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
5. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1

①課題

- ・1 開校以来就職率 100%を維持しているが、今後就職先の確保が必要となる(特に県内)
- ・4 早期からの学習支援、メンタルヘルスに関する個別対応、担任副担任制、スクールカウンセリングの利用等、科ごとに対応は講じているが、数名の退学者が出ている。
- ・5 卒業生の評価や活躍している情報を在校生に周知し、学習意欲の向上に役立てる必要がある。

②今後の改善方策

- ・1 年度初めに国家試験の報告を兼ねて求人のお願ひ文書を施設に送付する予定
- ・4 担任副担任による個別対応、縦割りによる上級生との学習機会の継続、退学につながった学生の傾向を分析する(入試形態、入試時の学力等)。
- ・5 学外での演習機会や各県士会の学会参加等により社会的な活躍の場を共有する機会をもっている。今後も演習機会の創出、掲示や SNS 等を活用して卒業生在校生の社会的な活躍を周知・啓発していく。

③特記事項

(5)学生支援

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 進路就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
3. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
6. 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
7. 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
8. 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
10. 高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1
11. 学生自治会へのアドバイスや支援を行っているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

- ・1 対面並びにオンラインを活用した就職説明会を開催した。求人数の減少や地域ごとによる求人の偏りがみられるため、今後対策が必要となる。介護福祉士科は就職説明会が中止となったが、社協等の実施するオンライン説明会等への参加を促している。
- ・4 感染対策・健康管理に関する通知と周知、感染予防のための環境整備(自動検温器・自動水栓の設置など)を随時おこなっている。
- ・11 サークル活動が開始となっている

(6)教育環境

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切3 やや不適切・・・2 適切・・・1			
	④	3	2	1
1. 施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
2. 学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
3. 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

①課題

- ・1 校内の施設設備、備品等を順次修繕、購入等を行っている。引き続き老朽化や指定規則改定に対応する備品の整備を図る必要がある。
- ・1 オンライン授業に備え、2階教室、PT/OT/CW 実習室に LAN ケーブルを整備している。Zoom の有料アカウントを 3 つ契約しており、引き続きオンラインにも対応できる体制や PC 等の備品を揃える必要がある。
- ・3 学校における防災・避難行動について消防署の講義/避難訓練を計画していたが、今年度は中止となった。

②今後の改善方策

- ・1 指定規則に基づく備品整備、オンライン授業に必要な備品や体制整備を計画的に進める。
- ・3 避難訓練の消防署指導を受けながら防災に対する安全管理体制の整備を計画する。

(7)学生の受入れ募集

評価項目	適切…4 ほぼ適切3 やや不適切…2 適切…1			
	1. 学生募集は、適正に行われているか	4	③	2
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
3. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	④	3	2	1
4. 上記の募集活動の結果、定員を満たしているか	4	3	②	1

①課題

- ・1 SNS(ツイッターやインスタグラム)の取り組みの強化は実行できているが、YouTube などの動画を使った広報が弱い。
- 2 Q&A ツールと在校生の近況報告チラシの企画と作成。
- ・4 全科定員充足に至ってない。特に作業療法士科・介護福祉士科が厳しい。

②今後の改善方策

- 1 1・2年生を対象とした職業理解プログラムの企画と実施。

③特記事項

- ・1 市民公開講座(年5回)を開催し、知名度向上に努めた。次年度も継続する。
- ・1 高校内進路説明会への教員の動員等で連携協力体制が確立している。
- ・2 保護者用ツールを新規作成し配布した。
- ・3 昨年コロナの影響で高校訪問ができなかったので A4 サイズの「YMCA News」を作成し、毎月高校の進路あてに発送し始めたが、現在も継続して学校での様子をニュースにして発送している。今後は新規出願実績がある高校も発送対象に追加する。

(8)財務

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
2. 予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
3. 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

- ・1 理学療法士科の入学者の定員を充足してきているが、作業療法士科および介護福祉士科の定員割れは続いており、財務基盤の不安要素になっている。

②今後の改善方策

- ・1 収入に対応した経費削減の見直しをする。

③特記事項

(9)法令遵守

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
4. 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

- ・3 自己点検評価で課題は挙げているが、改善策の協議ができていない。

②今後の改善方策

- ・3 課題の内容によって各委員会に振り分けを行い、協議を継続していくことで改善を図る。

③特記事項

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

- ・1 鳥取県理学療法士会・作業療法士会・介護福祉士会と連携し、研修や学会など共催も多く実施している。
- ・1 行政との連携による各種介護予防、徘徊見守り模擬訓練への参加、鳥大医学部との地域医療連携研修などを実施している。
- ・2 YMCA系のボランティアだけではなく、筋ジス協会、発達障がい児、認知症家族会、ろうあ仲間サロン会、行政などの各団体と連携して様々なボランティアを紹介し多くの学生が参加している。
- ・3 市民向け公開講座を学内や市立図書館で年5回実施している(今年度は5回実施)。その他、小学生向けの夏休みものづくり体験を、感染対策の上実施した。